

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

令和5年6月8日（木）

【協議事項】

1 警察職員の特別派遣について

（警備部）

警察本部から「令和5年沖縄全戦没者追悼式に伴う警備のため、沖縄県公安委員会から本県公安委員会に対し、警察職員の特別派遣について援助の要求がなされたことから、御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「昨年と同規模での開催となるのか。」旨の発言があり、警察本部から「昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で規模が縮小されていたが、本年はコロナ禍前と同等の規模で開催されるものと思われる。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

1 第34回福岡県警察装備資機材開発改善コンクールの実施について

（総務部）

警察本部から「本コンクールは、職員の警察装備資機材に対する開発改善意欲を啓発し、社会情勢の変化等に即応した警察装備の充実を図るとともに、職員にとって良好な職場環境を整備することを目的としている。各部門の業務の問題点や要望に応じ、業務の効率化と高度化を図るために開発改善を行った装備資機材を募集するもので、昨年のコンクールからは、赤色と青色の切替えができる誘導灯や車載用金属製防弾盾等が実用化されている。」旨の報告があった。

公安委員から「誘導灯は交通整理の現場などでよく目にするが、今後、民間企業での使用も想定されるのか。」旨の発言があり、警察本部から「今後、本県警察官が雑踏警備などで活用していくことで、同種製品が普及する可能性はある。」旨の説明があった。

2 アナログ規制の点検・見直しについて

（警務部）

警察本部から「デジタル技術の高度化により社会が変貌していく中、我が国の法制度やルールは、書面や対面といったアナログ的な手法が前提となっており、こうした「アナログ規制」が社会全体のデジタル化を阻害していると指摘されている。政府は国の法令等に存在する「アナログ規制」の点検・見直しを進めており、本県においても同様に実施していく方針である。」旨の報告があった。

公安委員から「昨今の社会情勢から必要な取組ではあるが、スピード感を重視するあまり情報管理等が疎かにならないよう配慮してもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「まずは、条例、規則等全ての規程の点検を実施し、見直しの必要性についてよく検討する。その上で、見直しを行うものについては、情報管理等についても十分配慮していく。」旨の説明があった。

公安委員から「既に道路使用許可などのオンライン手続が可能となっているが、同じような流れと考えて良いのか。」旨の発言があり、警察本部から「委員御指摘のとおりであり、こうした見直しは業務の合理化はもちろん、県民の利便性の向上にもつながるものと考えている。」旨の説明があった。

公安委員から「時代に応じた見直しを行ってもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「警察業務の特殊性から、見直しが難しいものも多いと思われるが、合理化

・高度化が可能な業務についてははっきり見直しを進めていく。」旨の説明があった。

3 固定電話通信事業者との協定の締結について

(生活安全部)

警察本部から「ニセ電話詐欺の被害を防止するため、通信事業者と協定を締結し、固定電話の防犯機能サービスの普及促進及び広報啓発活動を協働して行っていく。主な取組として、防犯機能サービスを普及させるための広報チラシを作成・配布するほか、通信事業者が故障修理等の訪問活動を行う際に被害防止の広報活動を行うこととしている。」旨の報告があった。

公安委員から「防犯機能サービスによる被害防止の効果は期待できるが、まずは多くの方に利用してもらえるように周知してもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「防犯機能サービスの普及促進については、今年度の重点施策として予算を確保し、サービス利用料の一部を補助するなどの取組を予定していることから、今後さらに周知を図っていく。」旨の説明があった。

4 筑後警察署における車両放火・焼死事案の発生について

(刑事部)

警察本部から「5月25日、筑後警察署敷地内において、筑後市居住の会社員の男性が自ら乗車する普通乗用自動車の車内で自己の身体に放火し、同車両を炎上させ、付近に駐車中の警察車両及び警察署倉庫の一部等を焼損させる事案が発生した。本件については、5月23日に夫婦間のもめごとを認知し、翌24日には自宅で火災が発生していた。5月25日は、捜査員が妻と共に実況見分に向かったところ、同男性が現れ、妻が乗った警察車両を追って筑後警察署敷地内に入り、本件の発生に至ったものである。」旨の報告があった。

公安委員から「動機は判明しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「動機は明らかになっていない。」旨の説明があった。

5 福岡市東区における殺人事件の発生及び被疑者の逮捕について

(刑事部・暴力団対策部)

警察本部から「東警察署、捜査第一課及び暴力団犯罪捜査課は、6月3日、福岡市東区内の路上において、被害者の大腿部等を刃物様のもので突き刺すなどして殺害した殺人事件について、6月4日、春日市居住の自称会社員の男性ほか3人を逮捕した。引き続き、事件の全容解明に努める。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者と被害者に面識はあったのか。」旨の発言があり、警察本部から「面識はあった。」旨の説明があった。

6 遠賀郡水巻町における女性殺人事件の発生について

(刑事部)

警察本部から「6月5日、近隣住民からの通報により臨場した警察官が自宅で死亡している被害者を発見し、現場の状況などから殺人事件と断定した。」旨の報告があった。

公安委員から「近隣住民はなぜ異変に気づいたのか。」旨の発言があり、警察本部から「被害者の自宅の室内灯がついたままになっていたことなどから、異変に気づき通報している。」旨の説明があった。

公安委員から「事件の全容解明をお願いします。」旨の発言があった。

7 公職選挙法違反（買収、事前運動）事件被疑者の逮捕について

(刑事部)

警察本部から「久留米警察署ほか3警察署及び捜査第二課は、久留米市議会議員一般選挙に際し、候補者を当選させるため、立候補前の令和5年3月上旬頃、有権者十数人に対し、候補者への投票などを依頼し、その報酬に飲食の供応接待をしたとして、候補者ほか2人を公職選挙法違反で逮捕した。」旨の報告があった。

8 空き家対象の窃盗事件の捜査終結について

(刑事部)

警察本部から「直方警察署ほか3警察署及び捜査第三課は、令和3年8月から令和5年1月までの間、主に筑豊地区、北九州地区において、現金や貴金属類を窃取する目的で空き家等に侵入し窃盗事件を敢行したとして、令和5年2月2日、直方市居住の建設作業員の男性ほか1人を逮捕した。捜査の結果、逮捕した2人を含む被疑者3人が敢行した窃盗事件等170件、被害総額約862万円を確認して捜査を終結した。」旨の説明があった。

公安委員から「空き家対象の窃盗事件ということであるが、被害はどのように発覚したのか。」旨の発言があり、警察本部から「所有者が立ち寄った際に発覚したケースや警察官が物色された空き家を発見したケースもあった。」旨の説明があった。

公安委員から「被疑者は、いつ浮上したのか。」旨の発言があり、警察本部から「被疑者は逮捕の約1年前に浮上しており、各種捜査を推進した結果、被疑者を検挙したものである。」旨の説明があった。

公安委員から「長期間にわたる地道な捜査を積み重ねて被疑者を検挙しており、大変素晴らしいと思う。」旨の発言があった。

9 電磁的公正証書原本不実記録・同供用事件の検挙について

(警備部)

警察本部から「城南警察署及び公安第二課は、令和4年1月21日及び同年9月8日、政治団体代表の男性が街宣に使用する街宣車について、別の者を使用者と偽って福岡陸運支局に虚偽の移転登録申請を行って、国土交通省が管理する自動車登録ファイルに不実の内容を登録させ、公正証書の原本として利用できる状態にした電磁的公正証書原本不実記録・同供用事件について、5月31日、福岡市東区居住の政治団体代表の男性を逮捕し、共犯被疑者2人を任意送致した。」旨の報告があった。

【その他報告事項】

1 秋篠宮皇嗣同妃両殿下のお成りに伴う警衛実施結果について

(警備部)

警察本部から「秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、「みどりの愛護」のつどいの式典や記念植樹など、御日程を無事に終えられ、6月3日に御帰還された。」旨の報告があった。

公安委員から「警衛に従事した警察官は大変な苦勞があったと思う。」旨の発言があった。